

司法試験等 C B T システム 体験版操作マニュアル

【短答式試験】

【目次】

1. 画面全般の説明	2
2. 短答式問題の解答方法	3
3. 各ツールの使用方法	5
3.1 問題エリアへの書き込み	5
3.2 問題エリアの表示方法変更	6
3.3 メモ機能	7
3.4 テキストのコピー・切取り・貼付け	9
3.5 入力方法切替の変更	10
3.6 画面表示倍率の変更	10
3.7 画面全体色の変更	11
3.8 画面（問題エリアを除く）の背景色変更	11
3.9 操作マニュアルの確認	12
4. 試験終了	13
5. （参考）修正等履歴	14

1. 画面全般の説明

司法試験CBTシステム（体験版）

短答式 憲法 No.1

1 【第1問】（配点：3）
 人権の享有主体に関する次のアからウまでの各記述について、bの見解がaの見解の批判となっている場合には1を、そうでない場合には2を選びなさい。（解答欄は、アからウの順に【No. 1】から【No. 3】）
 ア. a. 天皇も国民に含まれるので、憲法第3章の保障する権利の享有主体であるが、憲法自体が規定する皇位の世襲と職務の性質との関係で、特別に広範な人権制約が認められる。
 b. 公務員を全体の奉仕者として定める憲法第15条第2項のように憲法の文言に手掛かりがあれば、他の国民についても、天皇と同様に広範な人権制約が認められることになる。【No. 1】
 イ. a. 判例によれば、外国人の政治活動の自由の保障は、我が国の政治的意思決定又はその実施に影響を及ぼす活動等外国人の地位に鑑みこれを保障することが相当でないと解されるものには及ばない。
 b. 外国人には、参加の態様にかかわらず、政治的な主張を行うデモや集会に参加する自由が保障されなくなる。【No. 2】
 ウ. a. 判例によれば、会社は、自然人たる国民とひとしく国税等の負担に任ずるものである以

2 1. bの見解がaの見解の批判となっている
 2. そうでない

3 後で見直す

4

5

6

7

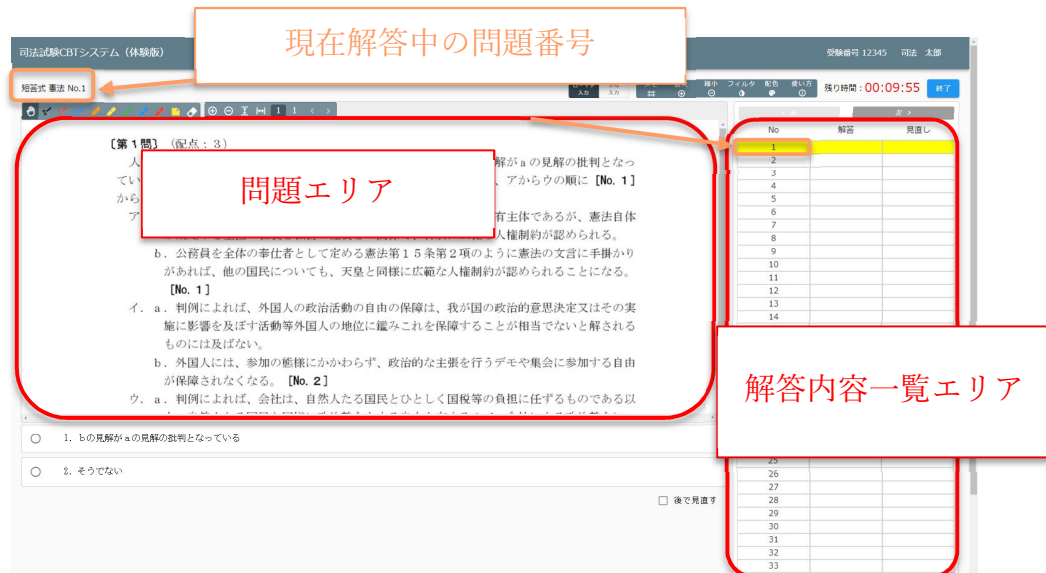
8 残り時間: 00:09:55

9

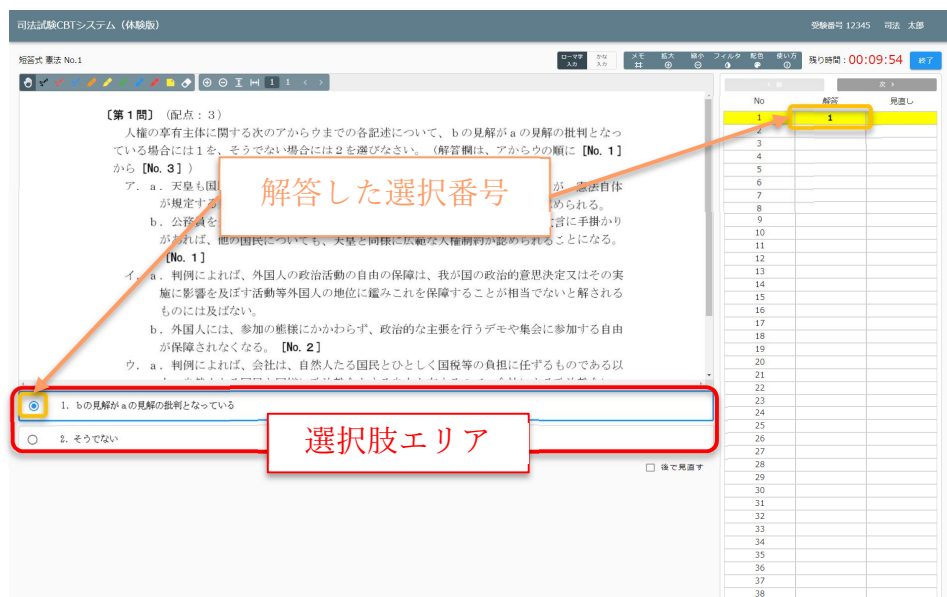
- 問題エリア**
問題文を縦スクロールで確認することが可能です。
- 選択肢エリア**
選択肢の一覧が表示され、選択肢をクリックすることで、解答することが可能です。
- 「後で見直す」チェックボックス**
クリックすることで、見直しを行いたい問題にフラグを立てることができます。
- 解答内容一覧エリア**
解答中の問題が黄色でハイライトされ、「解答」列に各問題の解答内容が表示されます。後で見直すフラグを立てている場合、「見直し」列に✓が表示されます。
- 前・次ボタン**
クリックすることで、解答中の問題の前後の問題に移動することが可能です。
- ローマ字入力・かな入力切替機能**
入力方法の切替えが可能です。
- 画面表示切替機能等**
メモ画面・操作マニュアル画面への切替えや画面倍率の変更・画面色・背景色の変更が可能です。
- 残り試験時間表示**
試験の残り時間をカウントダウン形式で表示します。
- 終了ボタン**
クリックすることで、試験が終了し、ホーム画面に戻ります。なお、残り時間が「00:00:00」でなくても操作することが可能です。

2. 短答式問題の解答方法

1. 問題エリアに解答中の問題文が表示されます。問題エリア内を縦スクロールすることで、全文確認することが可能です。現在解答中の問題番号は、画面左上にある問題番号もしくは画面右側にある解答内容一覧で黄色にハイライトされて表示されます。



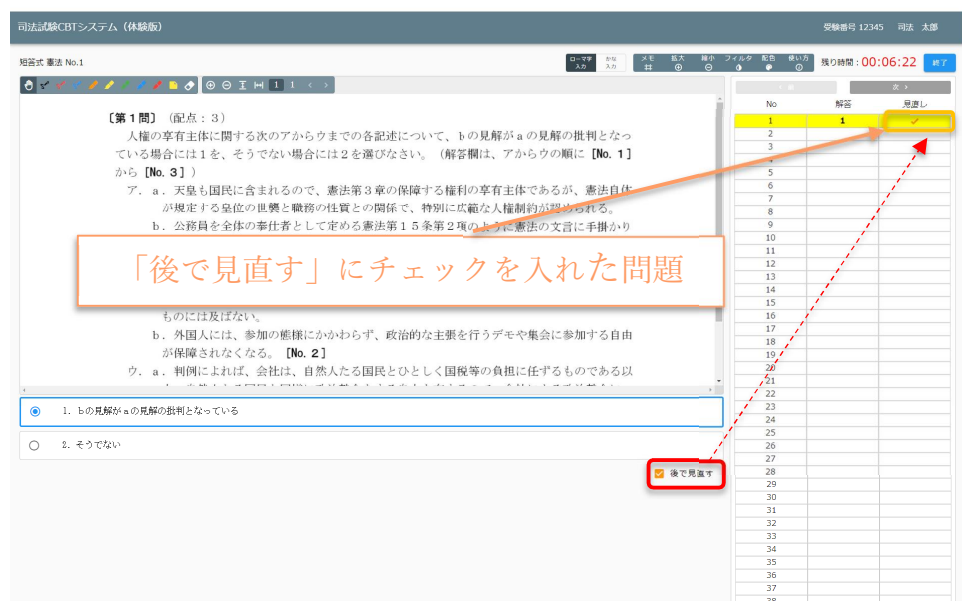
2. 問題エリアの下段に、選択肢エリアが表示されます。問題文に対する解答を、選択肢をクリックすることで、解答が可能です。解答した選択肢は、選択肢の左にあるラジオボタンに表示されます。また、解答内容一覧エリアの該当問題番号の右列に、解答した選択番号が表示されます。



なお、一度解答した選択肢は、別の選択肢をクリックすることで、変更することが可能です。

3. 後で見直しを行いたい問題がある場合には、「後で見直す」の左側にあるチェック欄をクリックすることで、解答内容一覧エリアの該当問題の「見直し」列に✓マークが表示されます。

また、「後で見直す」のチェックを外したい場合には、該当問題の「後で見直す」の左側にあるチェック欄を再度クリックすることで、チェックを外すことができ、解答内容一覧エリアの「見直し」列からも✓マークが消えます。



4. 解答内容一覧エリアの上にある「前へ」もしくは「次へ」ボタンをクリックすることで、前後の問題に切替えが可能です。また、解答内容一覧内の問題番号をクリックすることで、クリックした問題に切替えることもできます。



3. 各ツールの使用方法

3.1 問題エリアへの書き込み

1. 問題エリア左上のツールバーにある各種ツール機能を選択することで、問題エリアへの書き込み等が可能です。



2. 各ツールの機能内容は以下のとおりです。

ツール名称	ツールバーアイコン	機能内容
ハンドツール		問題エリアを掴んで、上下にスクロールすることが可能です。※1
ペンツール		問題エリアに自由曲線を書き込むことが可能です。黒・赤・青の3色が使用可能です。※1
マーカーツール		問題エリアにマーカーを引くことが可能です。橙・黄・緑・青・赤の5色が使用可能です。※1
テキスト入力ツール		橙・黄・緑・青・赤の5色から選択し、問題エリアへテキスト入力が可能です。※2

¹ ハンドツール、ペンツール、マーカーツールは、問題エリア上で、マウスをドラッグ（左クリックした状態で動かす）することで、使用可能です。

² テキスト入力ツールは、問題エリア上の任意の地点をクリックすることで、橙色の入力欄が表示され、キーボード入力によるテキスト入力が可能となります。また、テキスト入力ツール下部の緑色の部分をドラッグすることで、任意の位置に移動させることができます。

消しゴムツール		サイズを3段階から選択し、書き込んだ自由曲線、マーカー、テキストの削除が可能です。※3
---------	---	---

3.2 問題エリアの表示方法変更

1. 問題エリア左上のツールバーにある各種ツール機能を選択することで、問題の表示方法の変更が可能です。



2. 各ツールの機能内容は以下のとおりです。

ツール名称	ツールバーアイコン	機能内容
問題表示倍率変更ツール		問題エリアの表示倍率の変更が可能です。※4
問題表示幅変更ツール		問題エリアの縦幅もしくは横幅に合わせた表示が可能です。※4
問題表示頁変更欄		左側に現在閲覧中の頁数、右側に全体の頁数が表示されます。 左側の頁数に任意の数値を入力することで、該当頁の表示が可能です。
問題頁送りツール		「<」をクリックすることで問題の前頁、「>」ボタンをクリック

※3 消しゴムツールは、テキスト入力した内容を消す場合には、該当テキスト欄をクリックすることで削除可能です。また、ペン・マーカーツールによる書き込み内容を消す場合には、消したい箇所をマウスでドラッグすることで削除可能です。

※4 問題表示倍率変更ツール、問題表示幅変更ツール及び問題頁送りツールは、各ツールをクリックすることで使用可能です。

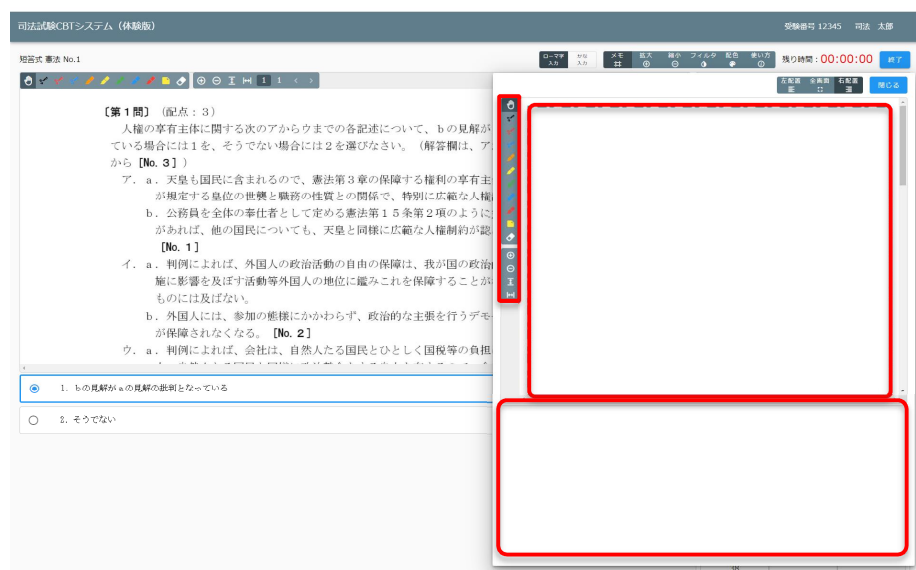
		することで問題の次頁の表示が可能です。 ※4
--	--	------------------------

3.3 メモ機能

- 画面上部のツールバーにある「メモ」ボタンをクリックすることで、メモ機能の使用が可能です。「メモ」ボタンをクリックすることでメモ画面が表示されます。



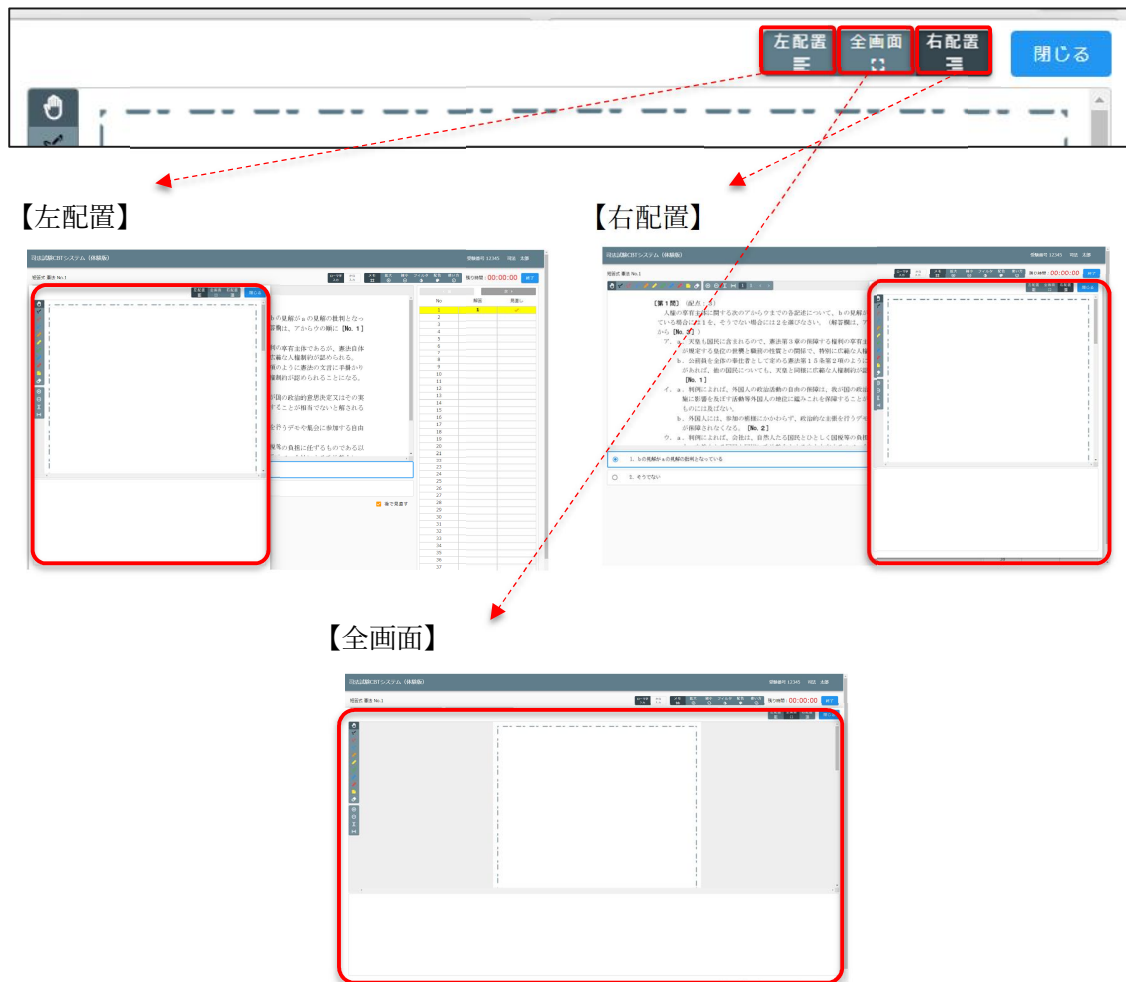
- メモ機能が表示され、テキストの入力が可能です。メモ機能の左側のツールバーにある各種機能を使用することで上部の欄に書き込み等を行うことができます。ツールバーにある各ツールの機能内容は、問題エリア左上のツールバーと同様です。ツールバーを使わずに、下部の欄にテキスト入力を行うことが可能です。



- ショートカットキー (Ctrl キー+Z キー) ※5を入力することで、メモ機能画面下部の欄に入力した1つ前の内容に戻すことが可能です。

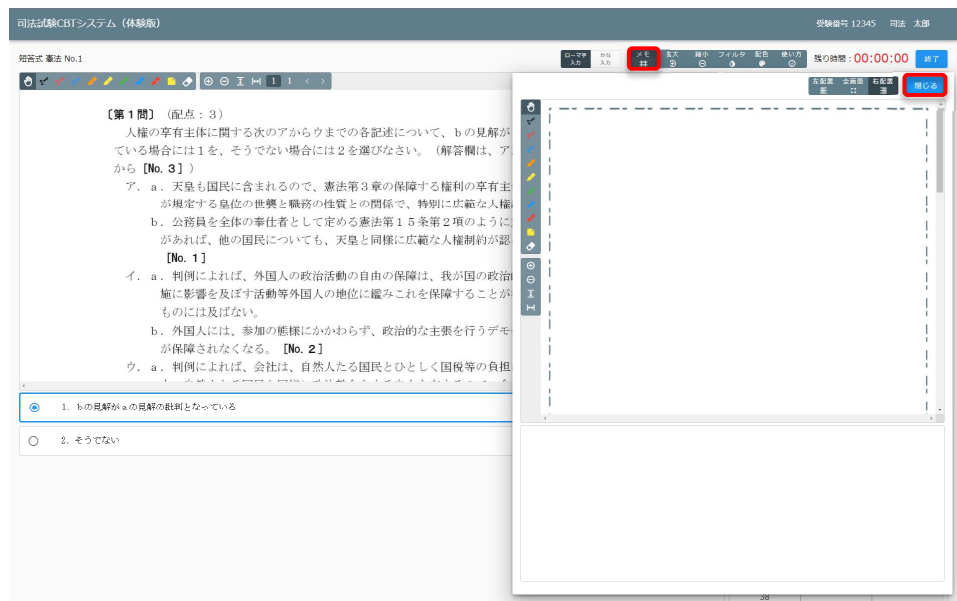
※5 ショートカットキーとは、キーボードの Ctrl キーを押しながら指定したキー (例: Z キー) を押すことで入力することが可能です。

4. 画面上部にある「左配置」「全画面」「右配置」ボタンをクリックすることで、メモ機能の位置・表示方法の切替えることが可能です。



5. 再度、画面上部のツールバーにある**メモボタン**をクリックする、又は**閉じるボタン**をクリックすることで、**メモ機能**を閉じることができます。

※メモ機能を閉じて、試験が終了するまでは書き込んだ内容は消えません。再度、メモ機能を開くことで続きから書き込むことができます。



3.4 テキストのコピー・切取り・貼付け

1. 選択肢及びメモ・挿入したテキストのメモ画面及び問題エリアのテキストボックスのコピー・切取り・貼付けについては、ショートカットキー（Ctrl キー+C キー）で**コピー**、ショートカットキー（Ctrl キー+X キー）で**切取り**、ショートカットキー（Ctrl キー+V キー）で**貼付け**をすることが可能です。
※問題文のコピーはできません。
2. テキストコピー・テキスト切取りの使用方法は、選択肢内容及びメモ・挿入したテキストからコピー・切取りたい箇所を選択します。テキスト選択した状態でマウスを右クリック又はショートカットキーを入力することで、コピー・切取りを選択することで操作が可能です。
3. コピー・切取りしたテキストは、貼付け可能な箇所にて、マウスを右クリックまたはショートカットキーを入力することで、貼付けることが可能です。

3.5 入力方法切替の変更

- 画面上部のツールバーにある「ローマ字入力」「かな入力」ボタンをクリックすることで、入力方法を切替えることが可能です。



- ツールの機能内容は以下のとおりです。

ツール名称	ツールバーアイコン	機能内容
入力方法切替え		ローマ字入力又はかな入力の切替が可能です。

3.6 画面表示倍率の変更

- 画面上部のツールバーにある「拡大」「縮小」ボタンをクリックすることで、画面全体の表示倍率を変更することが可能です。



- ツールの機能内容は以下のとおりです。

ツール名称	ツールバーアイコン	機能内容
表示倍率変更ツール		画面全体の表示倍率の変更が可能です。

3.7 画面全体色の変更

- 画面上部のツールバーにある「**フィルタ**」ボタンをクリックすることで、変更可能な色の一覧が表示され、画面全体の配色変更が可能です。※色の一覧にある「なし」が通常色となります。



- ツールの機能内容は以下のとおりです。

ツール名称	ツールバーアイコン	機能内容
画面全体色変更ツール		画面全体の色の変更が可能です。 なし、黄色、水色、黒色の中から選択ができます。

3.8 画面（問題エリアを除く）の背景色変更

- 画面上部のツールバーにある「**配色**」ボタンをクリックすることで、変更可能な色の一覧が表示され、画面（問題エリアを除く）の背景色変更が可能です。
※色の一覧にある「なし」が通常背景色となります。



2. ツールの機能内容は以下のとおりです。

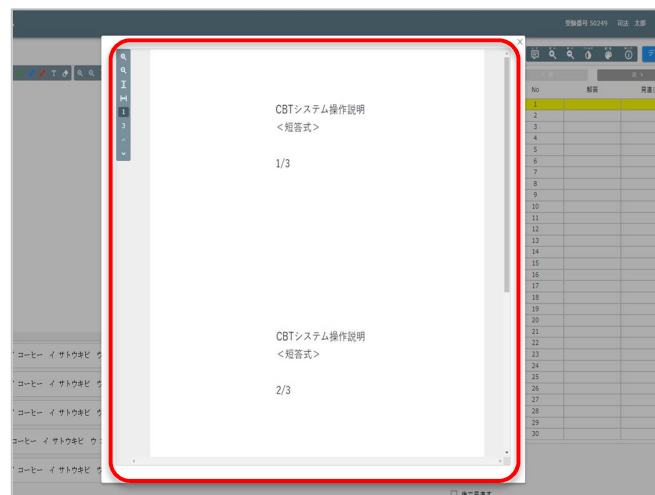
ツール名称	ツールバーアイコン	機能内容
配色変更ツール		画面（問題エリアを除く）の背景色の変更が可能です。 なし、黄背景、青背景、黒背景から選択ができます。

3.9 操作マニュアルの確認

1. 画面上部のツールバーにある「**使い方**」ボタンをクリックすることで、CBT 操作マニュアル（短答式試験）の確認が可能です。



2. CBT 操作マニュアルの確認画面が表示され、縦スクロールで確認が可能です。



3. 画面右上の「×」ボタンをクリックすることで、閉じることが可能です。

4. 試験終了

1. 試験を終了するには、画面右上にある「**終了**」ボタンを押してください。



2. 「**はい**」を選択することで「**ホーム画面**」に戻ることができます。また、「**いいえ**」を選択することで試験画面に戻ります。



※実際の試験は、試験時間を経過すると自動で終了する予定ですが、体験版においては、設定した試験時間を経過しても自動で終了しません。

また、体験版には、答案の出力・保存機能はありません。終了ボタンをクリックしたタイミングで答案の内容が失われてしまいますので御注意ください。

5. (参考) 修正等履歴

R7.4.25 公開版における修正点

- ・使用できる消しゴムのサイズについて、1段階（固定）から3段階（大中小）へ選択可能としました。
- ・答案画面の右上に表示される「残り時間」の表示を拡大しました。
- ・ツールバーのアイコンを見やすく修正しました。
- ・テキスト入力ツールの背景色を変更可能としました。
- ・テキスト入力ツールについて、入力後の位置の変更を可能としました。
- ・メモ機能の表示位置を変更しました。
- ・メモ機能等に記載できる文字について、見出しに使用する「（１）、①、i」等の環境依存文字を使用可能としました。
- ・一部のショートカットキー（コピー、切取り、貼付け、元に戻す）を使用可能としました。
- ・その他、軽微な不具合を修正しました。